



ゆきぐみだより

令和4年8月1日(月)
尚徳福祉会 井荻保育園

暑い夏！梅雨？？やっぱり夏！

今年も暑い夏がやってきた！と思っていたら、7月半ば頃は、まとまった雨。毎日雨ばかりで梅雨のようでしたね。そして前半は外気温が高すぎて、外に出られない日が多かった…。と、天候に左右されながらの保育でしたが、子ども達は室内の涼しい場所で過ごしながらも身体を自由に動かし遊び、汗をかいています。やっぱり夏！！なんですね。水に触れることも喜んでいきます。

最近はお座りの姿勢で喜んで遊ぶ子、腹ばいになるとおへそを軸にして動き喜ぶ子、ごろりごろりと転がったり、這い這いで移動したりして、目についた玩具を手にして喜ぶ子、棚や保育士につかまって立ち喜んだり、伝い歩きだったり、手を放してみたりして満足げな子、歩行が出来るようになった子と、全体的に動きが活発になってきました。出来ることが増えていくことはとてもうれしい事、子ども達も目をキラキラさせています。「できたね。」「出来るようになったんだね。」私達はそんな言葉をかけて喜びを共感したり保育者同士で喜び合ったりしています。



～保育や子育てを安全に～でも安全ばかりでは子どもは育たない？～

子どもが成長していく中で怪我はつきものです。と言ってしまうと心配や不安を感じてしまう方が多いのではないのでしょうか。でもどうなのでしょう？おそらく対人との接触をやめ何も無い環境で過ごしていれば怪我はしないでしょう。でもこれでは子どもの育ちにとって最悪な環境とされます。怪我に大小はないのですが、やっぱり対人や様々な環境とともに怪我のリスクがありながらも成長してほしいと思います。

集団生活の場において保育士は保育における重大事故を未然に防ぐ為に研修を受けたり勉強したりしています。また、子どもの怪我は年齢とともに変わってくることも知識としては持っています。0歳児クラスで起きやすい怪我(事故)は、窒息、誤嚥、つかまり立ちなどでの転倒、歩行の転倒です。一人一人の発達を把握しながら重大事故につながらないように、これからも保育していきます。

ゆき組担任

今月のわらい

○栄養や休息を十分にとり、安定した生活リズムの中で元気に過ごす。

○広々とした環境の中で、室内探索や遊具で全身を使って遊ぶ事を楽しむ。

もぐもぐ・ごっくんまねっこ遊び

食べることが大好きな子ども達。食べ物の絵本やおままごとの玩具などを使い保育者がつまんで食べて見せたりごっくんと飲んでみせたりすると上手にまねっこをしています。次回、さらに楽しいエピソードをお伝えできると思います！